

アフリカレポート

No. 38
2004
March

目次 第38号 (2004年3月)

速水佑次郎 巻頭言 アフリカの部族とアジアのむら	2
平野克己 TICAD III と TICAD イニシアティブ	3
小峯茂嗣 TICAD III と NGO の参画	8
高林敏之 「アフリカ連合」の基本的性格と課題 ——「EU モデル説」の批判的検討を通じて	12
武内進一 ジェノサイドと新しい国のかたち ——ルワンダの新憲法をめぐって	18
津田みわ 裏切られた期待 ——政権交代1年目のケニア	22
田中正隆 民主化する神々 ——1990年代以降のベナンにおける政治と伝統信仰	27
椎野若菜 ケニア・ルオ社会における寡婦の生活選択 ——村落で生きる・町で生きる	35
資料紹介 アジ研アフリカ通信	42 48

アジア経済研究所

本誌に掲載されている論文などの内容や意見は、外部からの投稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

『アフリカレポート』への投稿について

本誌『アフリカレポート』は投稿を常時受け付けています。投稿を希望される方は、下記要領に従って投稿してください。

1. **投稿資格** どなたでも投稿できます。
2. **原稿の種類** 原稿は、アフリカ地域に関する現地報告、研究ノート、情勢分析などで、未発表のものとしします。
3. **分量** 本文字数は図表・写真等を含め5500字を目途としします。
4. **注と参考文献** 注および参考文献は最小限にとどめてください。参考文献は文末に文献リストとして掲載してください。詳細は『アフリカレポート』ホームページ ([http:// www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Africa/index.html](http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Africa/index.html)) を参照するか、編集委員会までお問い合わせください。
5. **表紙** 投稿原稿には表紙を付けてください。表紙には、原稿のタイトル、タイトルの英訳、投稿者の氏名、所属および連絡先（住所、電話・FAX 番号、E-mail アドレス）を付記し、氏名にはふりがなとローマ字表記を添えてください。
6. **投稿方法** 投稿原稿を下記宛先まで送付してください。
7. **審査** 掲載の可否は編集委員会が決定いたします。掲載に際しては、編集委員会より加筆・修正をお願いすることがあります。
8. 採用された原稿はすべて署名原稿として扱います。
9. **原稿料** 採用された原稿には、当研究所の規定により原稿料を支払います。

本誌の編集方針、企画の審議、原稿の審査は下記編集委員会が行っています。

2003（平成15）年度『アフリカレポート』編集委員会

編集人：平野克己

委員：吉田栄一 望月克哉 武内進一 高根 務 津田みわ 児玉由佳
佐藤 章 福西隆弘 牧野久美子 鳥谷尾克男

投稿宛先 〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉 3-2-2 アジア経済研究所
『アフリカレポート』編集委員会

お問い合わせ africa@ide. go. jp

『ガーナ——混乱と希望の国』

高根務著 新書版 214p. 1,100円(本体価格) ISBN4-258-05104-7

【目次】はじめに 【第1部 歴史編】第1章 王国の興隆と戦争の時代 1 初期の住人／コラム1 ポスムチュウエ湖 2 ヨーロッパ列強の到来 3 王国の形成と抗争 4 アサンテ王国とファンテ王国 5 イギリスとアサンテ王国 6 「森は大砲よりも強い」／コラム2 熱帯病は酸素不足が原因? 7 「私に白人を攻撃する意志はない」／コラム3 アサンテ王コフィ＝カカリ 8 アサンテ王国最後の戦い 第2章 イギリス支配下のゴールドコースト 1 植民地下のアサンテ王国／コラム4 現代のアサンテ王 2 植民地経済の発展 3 間接統治の技法 4 庶民にとっての植民地時代:小農とカカオ／コラム5 カカオ農民, アジェイじいさんにとっての植民地時代 6 庶民にとっての植民地時代:女性の経済活動／農村部での政治運動:カカオ不売運動 7 独立運動の高まり／コラム6 若き日のンクルマ 第3章 独立ガーナ:混乱と希望の現代史 1 ンクルマ時代:希望と挫折 2 「政府はどんなことでもできる」／コラム7 クーデター後のンクルマ 3 政治混乱と経済停滞の悪循環 4 ローリングスの「革命」／コラム8 若き日のローリングス／コラム9 クーデターの陰で 5 「革命」の中身 6 独裁から民主化へ 【第2部 現代ガーナ編】第4章 「名前」と「制度」 1 地名の由来 2 人名の由来 3 シンボル 4 政治体制 5 ことば 6 教育 7 女性 第5章 暮らし 1 食べ物 2 酒 3 買い物／コラム10 昔のお金 4 季節 5 葬式 6 呪術 7 タブーとマナー／あとがき

カカオの産地として有名な、西アフリカの国、ガーナ。この国の豊かな文化と歴史をたどり、そして私たちと同時代を生きるガーナの人々の暮らしを、等身大の視点で描く。2000年に『ガーナのココア生産農民』で日本アフリカ学会研究奨励賞を受賞した著者が書き下ろした、アフリカ・ガーナへの格好の案内書。アフリカに関する授業やセミナーの参考図書としても最適。

『国家・暴力・政治——アジア・アフリカの紛争をめぐって』

武内進一編 A 5版 510p. 5200円(本体価格) ISBN 4-258-04534-9

【目次】序章 アジア・アフリカの紛争をどう捉えるか(武内進一)／【第I部 ネーション・ステイトという火薬庫】第1章 インド北東地方の紛争——多言語・多民族・辺境地域の苦悩(井上恭子)／第2章 カシミール——分割されざる渓谷(井上あえか)／第3章 カンボジアの人種主義——ベトナム人住民虐殺事件をめぐって一考察(天川直子)／第4章 ラオス内戦下の国民統合過程——パテート・ラーオの民族政策と「国民」概念の変遷(山田紀彦)／【第II部 紛争の定義と操作】第5章 紛争の正当化が国民統合に与える影響:イラクにおけるナショナリズムの方向と「敵」概念の変容(酒井啓子)／第6章 リコニ事件再考——ケニア・コースト州における先住性の政治化と複数政党制選挙(津田みわ)／第7章 新生南アフリカにおける「紛争」の様式——再生産される「暴力の文化」(遠藤貢)／【第III部 暴力再考】第8章 プタレの虐殺——ルワンダのジェノサイドと「普通の人々」(武内進一)／第9章 シエラレオネ紛争における一般市民への残虐な暴力の解剖学——国家、社会、精神性(落合雄彦)／第10章 スリランカにおける二大政党制と暴力——1987-89年人民解放戦線(JVP)反乱深刻化の背景(荒井悦代)／【第IV部 紛争の抑止か?抑圧か?】第11章 南部フィリピン紛争と市民社会の平和運動——2000年の民間人虐殺事件をめぐって(川島緑)／第12章 カザフスタンにおける民族運動の翼賛化——予想された紛争はなぜ起きなかったのか(岡奈津子)

アジア・アフリカで頻発する紛争は何に起因し、いかなる特質を持ち、現代世界に何を問いかけるのか。2年にわたる共同研究会の成果として出版された本書では、気鋭の地域研究者が12の国と地域を分析する。広範な地理的領域で発生する紛争事例の実証分析から、国民国家や政治暴力といった共通の問題群とともに、各地域固有の紛争の性格が浮かび上がる。発展途上国の紛争に関する理論枠組みを扱った序章と併せ読むことで、アジア・アフリカの紛争に対する理解をさらに深めることができる。

注 文 書

注文冊数とお届け先を下記にご記入のうえ、FAX(043-299-9736)でお願いいたします。
 代金は書籍到着後、郵便振替または銀行振り込みでお支払いください(別途送料がかかります)。
 アジア経済研究所のアフリカ関連の出版物の情報は、以下のホームページでもごらんになれます。
 またこのページから、オンラインでもご注文頂けます。
<http://www.ide.go.jp/Japanese/Research/Africa/shuppan.html>

『ガーナ——混乱と希望の国』	(冊)
『国家・暴力・政治——アジア・アフリカの紛争をめぐって』	(冊)
ご氏名	
ご住所 〒	
TEL	FAX

※販売に関するお問い合わせは、TEL043-299-9735(成果普及課販売担当)までお願いいたします。